

作成日 2026 年 6 月 12 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」

課題名：「シングルセル遺伝子発現解析による進行性甲状腺癌の分子機構の解明」

1. 研究の対象

2019 年 7 月～2024 年 9 月に当院で甲状腺癌の手術を受けられた方のうち、上記研究課題への参加について文書による同意をいただいた方

2. 研究期間

2019 年 7 月 24 日～2025 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用および提供を開始する予定日（および拒否の受付期限）

本研究における試料・情報の利用および提供は、研究機関の長の実施許可後、速やかに開始（2019 年 7 月 24 日）いたします。

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合、ご遠慮なく「お問い合わせ先の窓口」までお知らせください。データの統計解析開始予定の 2026 年 8 月頃までであれば、いつでもあなたのデータを特定し、研究から除外することができます。

ただし、それ以降になりますと、研究の性質上、データを削除することが困難となるため、ご希望に添えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

4. 研究目的

甲状腺癌はおおむね予後良好な疾患ですが、ごく一部には甲状腺未分化癌や甲状腺低分化癌といった予後不良なものもあります。これらの予後不良な甲状腺癌はまれであるがために、基礎研究や新しい治療法の開発などがなかなか進んでいないのが現状です。本研究では、甲状腺未分化癌、甲状腺低分化癌、進行・再発甲状腺分化癌といった進行性の甲状腺癌を 1 細胞レベルで遺伝子発現解析を行い、その特徴を明らかにすることを目的としています。

5. 研究方法

手術で摘出した組織の一部をご提供いただきます。ご提供の有無による手術方法の変更はなく、特別な処置は一切ありません。

担当医を通じて、診療に関する医療情報全般をご提供いただき、解析に使わせていただきます。

採取された検体は担当者により氏名、住所、生年月日などの個人情報を除いて匿名化された後、RNA を抽出して網羅的な遺伝子発現解析が行われます。解析された遺伝子の情報は個人情報にあたるため厳重に管理致します。得られた検体や抽出された RNA は筑波大学健康医科学イノベーション棟において冷蔵または冷凍で保存します。本研究の終了後 10 年が経過した時点（2035 年 3 月 31 日）で、それらの検体や医療情報等はすべて廃棄します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、検査値、病理診断 等

試料：甲状腺組織

7. 外部への試料・情報の提供方法

本研究で取得したシングルセル RNA シーケンス解析データのうち、

- ・FASTQ ファイル（塩基配列データ）
- ・遺伝子発現マトリクスデータ

を研究成果の再現性確保および学術研究の発展を目的として、以下の公的データベースへ登録する予定です。

- ・Japanese Genotype-phenotype Archive (JGA)
- ・Gene Expression Omnibus (GEO)

データベースへ登録するデータには、氏名、生年月日、カルテ番号等の個人を直接特定できる情報は含まれません。登録されるデータは研究用 ID により匿名化された状態で管理され、研究者が個人を特定できない形で公開または提供されます。なお、公開されるデータは遺伝子発現情報であり、研究目的以外で利用されることはありません。また、関連法令および各データベースの規定に従って適切に管理されます。

対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

本研究で得られたデータは、公衆衛生の向上に貢献する他の研究を行う上でも重要なデータとなるため、国内外の多くの研究者と共有します。

将来、どの国の研究者がデータを利用するか現時点ではわかりません。しかし、どの国の研究者に対しても、日本国内の法令や指針に沿って作成されたデータベースのガイドライン等に準じた利用が求められます。

9. 研究組織

本学単独研究

10. 利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は科学研究費補助金です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

11. 特許権について

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

12. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院 乳腺甲状腺内分泌外科 担当：井口研子

住所 : 茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先 : 電話 029-853-3341 (平日 9:30-16:30)

当院の研究責任者 : 筑波大学附属病院 乳腺甲状腺内分泌外科 井口 研子